



中丹教育支援センターだより

京都府立中丹支援学校

令和6年10月30日発行

「夏季研修講座」への御参加いただきありがとうございました。

8月22日（木）に京都府北部特別支援教育夏季研修講座を行いました。NPO 法人支援機器普及促進協会理事の高松崇先生から「読み書きに困難さのある児童生徒に対する理解と支援～ICT 機器等を活用した支援と工夫～」と題して講演いただき、授業や環境設備のUD化について数々の御教示をいただきました。“読む能力”のアプローチに関して、読書ルーペやリーディングトラッカー、“書く能力”のアプローチでは感覚や微細な運動を支援するざらざら下敷きやぐるんパス、定規の活用例について御紹介いただきました。不器用さの要因として、正中線交差、目と手の協応、尺側分離等をアセスメントし、“困った子ではなく困っている子”と捉えて支援を考えることが大切であると話されました。

～ iPad の機能を活用した支援配慮の例 ～

- ・画像でプリント等を記録し、教科ごとのフォルダを作成し管理保存する。
- ・ボイスメモ機能を使って筆記作業を軽減する。

～ 支援のアプリ等 ～

UDトーク

コミュニケーションを支援するための会話の見える化アプリ。会話を文字化して確認することで理解や双方向のコミュニケーションを深めたりすることに役立つ。

ふりがな PDF

表示させた PDF 形式の文書の漢字に自動で振り仮名をつけ、読み方や読むことを支援する。

振仮名

文を撮影したものや表示されたホームページの文字に振り仮名をつけることができる。文書等を画像で取り込み、文字をテキスト化して振り仮名をつけ、縦書きや横書きの変更もできる。



〈 夏季研修講座の感想から 〉

- ・“読めるようにする、書けるようにする” ことではなく、よりよく生きるために何を支援するかを明確にできました。教師が色々な支援の方法を知り選択肢を増やして子どもに合うものを見つけていく必要があると思いました。ICT にしかない支援もあるので試していきたいと思います。(小学校)
- ・特別支援教育における ICT の具体的な利活用方法について学ぶことができました。多様なニーズに対応するためのツールとして ICT を利活用しアプリ等の環境を整えて校内で積極的に利用できるようにしていきたいと思います。(小学校)
- ・担任している子どもたちの顔を思い浮かべどれが使えるか考えながら講演を聞きました。2 学期以降取り組んでいきたいと思います。(小学校)
- ・学習の中で「できる。」「わかる。」が増え子どもたちの自身や意欲に繋げられるように教師自身がたくさんの引き出しを増やしていきたいです。ありがとうございました。(小学校)

〈 夏季研修講座の感想から つづき 〉

- ・良かれと思ってやっていたことが画一的で型にはめようとしたり、自立の妨げになっていたりして子どものためになっていないことに気付きました。子どもの視点で考え実践していこうと思います。(中学校)
- ・できることを積み上げていく指導だと卒業後にどこまで到達できるか分からないこともあるため、将来像を描いて目標を設定する必要があると分かりました。LDは“学び方が違う”ということが心に残りました。(中学校)
- ・生徒の困り感に寄り添った指導や支援について考えました。紹介いただいたアプリや書籍を参考にして、ICTがパートナーになるように支援の在り方を考えたいです。(高校)
- ・子どもの困り感に応じた正しいICTの活用の仕方を知ることができ勉強になった。「発達障害の対応の間違ひが多いことの指摘がありました。今後の指導や授業の中で丁寧な説明を心がけ、問いかけ等、正しく伝わるようをするように心がけていきたいです。(支援学校)
- ・2学期からの実践にすぐ役立つ内容でした。特別支援教育の視点をもった学級経営、授業改善ができるとういと思ひます。(教育局)

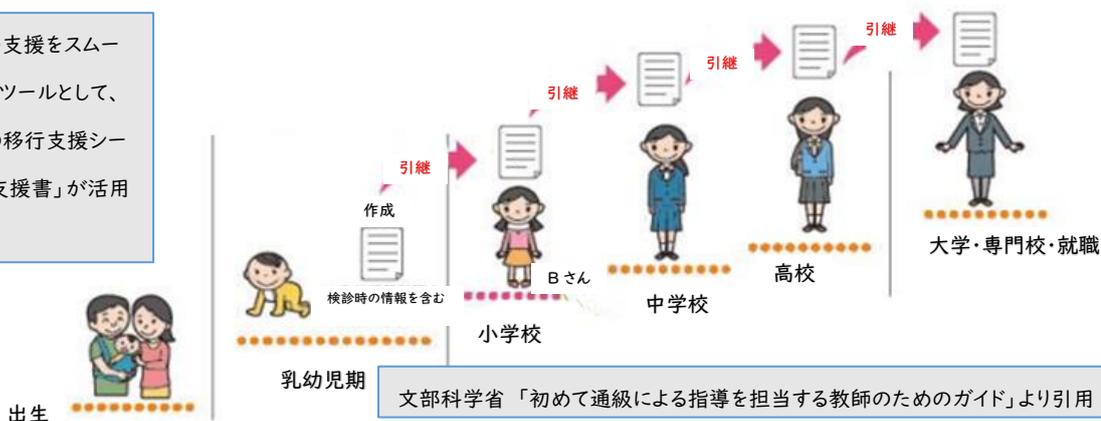
たくさんの御感想をお寄せいただきましてありがとうございました。

切れ目ない支援でつながる

～スムーズなステージ間の移行～

障害のある子どもを生涯にわたって支援していくために個別の支援計画があります。就学前から学校を卒業し、就学や就労に従事したり地域で生活したりしていく中で就学先や就労先の理解は重要です。生涯にわたってスムーズに切れ目ない支援がされるよう支援を引き継いでいくことが大切です。

次のステージへの支援をスムーズに引き継ぐためのツールとして、福知山市は「個別の移行支援シート」綾部市は「移行支援書」が活用されています。



家庭から保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、教育、医療、福祉、就職等の機関において支援を継続する必要があります。所属している場から場への各ステージ間の移行がスムーズに行われるよう支援を引き継ぐための個別の移行支援シートや移行支援書があります。一貫した支援が共有されるよう個別の支援計画を作成し、適宜見直しを加えながら内部連携や外部連携等を充実し関係機関でスムーズに支援が引き継がれ進められることが求められます。就学前から青年期までのつながりのある支援の実現、充実のために、地域のセンターとして貢献していきたいと考えています。アセスメントの視点や支援・手立て等、個別の支援計画や個別の指導計画、個別の移行支援の作成等に関わって相談がありましたら中丹教育支援センターまでお問い合わせください。

